



平成31年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月17日

上場会社名 株式会社 近鉄百貨店 上場取引所 東
 コード番号 8244 URL http://www.d-kintetsu.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高松 啓二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務本部長 (氏名) 泉川 邦充 TEL 06-6655-7030
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月17日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第1四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	70,614	5.5	1,290	25.5	1,175	27.5	1,167	23.3
30年2月期第1四半期	66,926	1.7	1,028	22.8	922	22.0	947	79.0

(注) 包括利益 31年2月期第1四半期 958百万円(19.4%) 30年2月期第1四半期 802百万円(17.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第1四半期	28.92	—
30年2月期第1四半期	23.46	—

(注) 当社は、平成29年9月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。当該株式併合が前連結会計年度の開始の日に実施されたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第1四半期	130,526	33,423	25.6
30年2月期	128,307	32,465	25.3

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 33,423百万円 30年2月期 32,465百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年2月期	—	—	—	—	—
31年2月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	136,500	0.7	2,100	13.4	1,700	2.9	1,400	△21.3	34.67
通期	278,000	△1.5	5,000	2.3	4,300	△2.7	3,600	146.2	89.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期1Q	40,437,940株	30年2月期	40,437,940株
② 期末自己株式数	31年2月期1Q	60,369株	30年2月期	60,333株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期1Q	40,377,600株	30年2月期1Q	40,378,050株

当社は、平成29年9月1日付で普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。期中平均株式数につきましては、当該株式併合が前連結会計年度の開始の日実施されたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
平成30年度第1四半期 決算補足資料	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成30年3月1日～平成30年5月31日)のわが国経済は、雇用、所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調のうちに推移いたしました。

百貨店業界におきましては、気温の上昇による季節需要の高まりに加え、大都市を中心に訪日外国人によるインバウンド需要が昨年に引き続き高い伸びを示したこともあり、売上高は総じて堅調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループでは、本年4月に策定いたしました「中期経営計画(2018年度～2020年度)」に基づき、新たな百貨店事業モデル及び将来の発展に向けた事業モデルの構築並びにあべの・天王寺エリアの魅力最大化に向けた諸施策を推し進めるなど、各事業にわたり収益力の向上に懸命の努力を傾けました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①百貨店業

百貨店業におきましては、あべのハルカス近鉄本店では、化粧品売場に導入した新規ショップ等が集客力の向上に寄与し、売上高は本年5月まで18カ月連続で前年を上回り、百貨店業全体の業績を牽引いたしました。

また、上本町店においては、ホームファッション専門店の導入や婦人雑貨売場の再編集、食料品売場への新規ショップ導入を行うなど、全館にわたって大規模な改装を実施いたしました。

さらに、奈良店食料品売場において、当社3店目となる高級食材スーパー「成城石井」を展開したことに加え、地元奈良の新たな魅力を発信する地域商社事業のコンセプトショップ「大和路」を新規導入いたしました。

この結果、売上高は64,885百万円(前年同期比6.7%増)、営業利益は1,023百万円(同54.7%増)となりました。

②卸・小売業

卸・小売業におきましては、株式会社ジャパンフーズクリエイトの鮮魚販売が好調に推移した一方で、株式会社シュテルン近鉄が輸入自動車販売の競争激化を受け減収となったため、売上高は3,748百万円(前年同期比1.7%減)、営業利益は30百万円(同76.1%減)となりました。

③内装業

内装業におきましては、株式会社近創で前年に大口工事受注があった反動により、売上高は1,139百万円(前年同期比25.6%減)となりましたが、経費削減等の取組みにより営業利益は247百万円(同14.8%増)となりました。

④その他事業

その他事業におきましては、株式会社Kサポートの運営管理業務の新規受注などにより、売上高は840百万円(前年同期比10.9%増)となりましたが、近畿配送サービス株式会社において人件費その他の諸経費が増加したことなどにより、営業利益は36百万円(同20.4%減)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は70,614百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益は1,290百万円(同25.5%増)、経常利益は1,175百万円(同27.5%増)となりました。これに固定資産除却損等116百万円を特別損失に計上し、法人税等を加減した親会社株主に帰属する四半期純利益は1,167百万円(同23.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ2,219百万円増加し130,526百万円となりました。負債は、支払手形や買掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ1,261百万円増加し97,103百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ958百万円増加し33,423百万円となりました。この結果、自己資本比率は25.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想につきましては、平成30年4月16日に公表した予想数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,497	3,226
受取手形及び売掛金	10,467	12,166
商品及び製品	7,881	8,230
仕掛品	254	172
原材料及び貯蔵品	27	34
その他	6,391	6,695
貸倒引当金	△31	△31
流動資産合計	28,489	30,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,647	47,503
土地	27,087	27,087
その他(純額)	2,940	3,048
有形固定資産合計	77,675	77,639
無形固定資産	1,705	1,991
投資その他の資産		
投資有価証券	4,821	4,586
敷金及び保証金	10,754	10,741
退職給付に係る資産	3,113	3,133
その他	1,982	2,169
貸倒引当金	△234	△229
投資その他の資産合計	20,436	20,401
固定資産合計	99,818	100,032
資産合計	128,307	130,526

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,018	23,895
短期借入金	12,078	10,411
未払法人税等	734	214
商品券	8,894	8,890
預り金	27,641	28,822
賞与引当金	265	655
商品券等引換損失引当金	6,417	6,361
資産除去債務	23	—
その他	4,865	4,690
流動負債合計	81,939	83,942
固定負債		
長期借入金	8,830	8,327
退職給付に係る負債	471	480
厚生年金基金解散損失引当金	166	166
資産除去債務	297	299
その他	4,137	3,886
固定負債合計	13,902	13,160
負債合計	95,841	97,103
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	8,990	8,990
利益剰余金	6,768	7,936
自己株式	△84	△84
株主資本合計	30,674	31,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,210	1,000
退職給付に係る調整累計額	579	580
その他の包括利益累計額合計	1,790	1,580
純資産合計	32,465	33,423
負債純資産合計	128,307	130,526

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
売上高	66,926	70,614
売上原価	51,623	54,169
売上総利益	15,303	16,444
販売費及び一般管理費	14,275	15,154
営業利益	1,028	1,290
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	7
未請求債務整理益	238	239
その他	85	32
営業外収益合計	331	280
営業外費用		
支払利息	48	31
商品券等引換損失引当金繰入額	256	250
その他	132	113
営業外費用合計	437	395
経常利益	922	1,175
特別利益		
固定資産売却益	340	—
特別利益合計	340	—
特別損失		
固定資産除却損等	—	116
特別損失合計	—	116
税金等調整前四半期純利益	1,262	1,059
法人税、住民税及び事業税	94	137
法人税等調整額	220	△245
法人税等合計	315	△107
四半期純利益	947	1,167
親会社株主に帰属する四半期純利益	947	1,167

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益	947	1,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△150	△209
退職給付に係る調整額	6	0
その他の包括利益合計	△144	△209
四半期包括利益	802	958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	802	958

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当第1四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	百貨店業	卸・小売業	内装業	その他事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	64,885	3,748	1,139	840	70,614	—	70,614
セグメント間の 内部売上高又は振替高	43	773	1,087	706	2,611	△2,611	—
計	64,929	4,522	2,227	1,547	73,226	△2,611	70,614
セグメント利益	1,023	30	247	36	1,337	△47	1,290

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

平成30年度第1四半期 決算補足資料

個別決算関係

1. 個別決算の概要

(単位：百万円、%)

	当第1四半期累計期間	
	金額	前年同期比
売上高	65,022	6.7
営業利益	1,112	51.7
経常利益	1,082	45.4
四半期純利益	1,084	43.2

2. 店別売上高

(単位：百万円、%)

	当第1四半期累計期間	
	金額	前年同期比
あべのハルカス近鉄本店 (Hoop等を含む)	31,590	18.1
上本町店	5,868	6.7
東大阪店	750	△4.9
奈良店	6,052	4.3
橿原店	3,846	△1.4
生駒店	1,881	△8.6
和歌山店	5,141	0.1
草津店	2,739	△2.1
四日市店	5,000	△14.8
名古屋店 (近鉄パッセ)	2,151	△7.9
合計	65,022	6.7

(注) あべのハルカス近鉄本店単独 30,621 19.8

3. 商品別売上高

(単位：百万円、%)

		当第1四半期累計期間	
		金額	前年同期比
衣料品	紳士服・洋品	2,209	△2.5
	婦人服・洋品	10,878	△3.1
	子供服	1,239	7.1
	その他衣料品	2,545	△10.8
	計	16,873	△3.6
身回品		7,021	14.4
家庭用品	家具	599	5.3
	家庭電器	10	△17.1
	その他家庭用品	1,301	0.3
	計	1,910	1.7
食料品		18,794	△3.4
食堂喫茶		1,177	2.3
雑貨	雑貨	6,572	△0.4
	化粧品	9,189	97.4
	計	15,761	40.0
サービス		412	△23.5
その他		3,069	2.2
合計		65,022	6.7